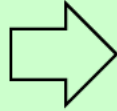


## 畑地かんがい用水の更なる有効活用と地域農家の経営安定を目指して ～鹿屋市茶業振興会～

### 経営体の概要

設立年度：昭和42年  
基幹作物：茶  
作付面積：180ha  
18工場



現 在：平成28年  
基幹作物：茶  
作付面積：368ha  
38工場

### 取組の経緯と経営転換のポイント等

昭和42年の設立時、国営第1号の笠野原畑地かんがい事業により、かんがい用水が確保されることとなり、安定的なかんがい用水と、防霜用水等が確保されたことから、良質の茶が生産されています。

18工場で栽培面積180haで設立した当会は、平成28年に38工場、栽培面積368haで、現在、生産量838tまで規模拡大し、販売額が665百万円と収益も確保されています。

### 営農改善のポイント

#### ①栽培技術の確立・向上

本振興会では、整備された畑地かんがい施設により、霜害が軽減されたこと及び降灰の除去用水に活用することにより、県品評会にて、産地賞の複数受賞や農林水産大臣賞の連続受賞など、鹿屋茶の銘柄確立に寄与しています。

#### ②単収・品質の向上

鹿屋市茶業振興会では、食の安全・安心への取り組みとして、平成28年度にグローバルGAPを2工場が取得しています。また、平成28年度時点でK-GAPを地区内の23工場が取得しています。

#### ③流通・販売の工夫

緑茶をドリップ方式で飲んでもらうように、数品種の一番茶のみを厳選使用し、鹿屋深蒸し茶の機能性緑茶「Dew(デュー)」の開発・販売を行っています。



茶園での水結散水状況



機能性緑茶「Dew(デュー)」

#### 事業概要

事業種：かんがい排水事業  
関係市町：鹿屋市、肝付町  
受益面積：2,452ha  
事業期間：平成25年度～34年度  
(前歴事業：昭和33～44年度)  
事業目的：畑地かんがい  
主要工事：ダム1カ所、ファームポンド4カ所  
揚水機場1カ所、加圧機場1カ所、  
用水路52.2km

#### 位置図（鹿児島県）



#### <問い合わせ先>

九州農政局  
農村振興部農地整備課  
電話：096-211-9111  
(内線：4773)

(平成29年度調査時点)